10. 評価書対象事項に係る評価書案の修正の経過及びその内容

10.1 修正の経過

本環境影響評価書の作成にあたっては、「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会実施段階環境影響評価評価書案審査意見書について」（平成27年10月13日 27環総政第624号）に記載された環境局長の意見及び都民からの意見を勘案するとともに、事業計画の具体化に伴い、評価書案の内容を修正した。

評価書案の修正箇所、修正事項、修正内容及び修正理由は、表10.1-1(1)、(2)に示すとおりである。

表 10.1-1(1) 評価書案の修正の経過及びその内容

評価書案の修正箇所	修正事項	評価書における修正内容及び修正理由
8. 環境影響評価の項目	選定しなかった項目及びその理由	環境局長の審査意見書を踏まえ、「移転」を選定したとともに、「土地利用」については、今後の計画の熟度に応じて、改めて環境影響評価の項目の検討を行うこととした。(p. 28、30 参照)
9. 環境及び社会経済に及ぼす影響の内容及び程度並びにその評価		
9.1 土壌	現況調査	環境確保条例に基づく土壌汚染状況調査結果を記載した。(p. 35 参照)
	予測	環境確保条例に基づく土壌汚染状況調査結果を踏まえた予測を行った。(p. 48 参照)
	ミティゲーション	環境局長の審査意見書を踏まえ、工事中に土壌汚染が新たに確認された場合のミティゲーションを追記した。(p. 49 参照)
9.2 生物の生育・生息基盤	ミティゲーション	環境局長の審査意見書を踏まえ、今後の緑化計画検討に関するミティゲーションを追記した。(p. 59 参照)
9.3 生物・生態系	ミティゲーション	環境局長の審査意見書を踏まえ、工事中の配慮事項を追記した。(p. 88 参照)
9.4 廃棄物	予測	環境局長の審査意見書を踏まえ、資料編として建設発生土、建設汚泥及び建設廃棄物の排出量の算定過程を記載した。また、廃棄物等の種類ごとに再資源化率を設定し、再資源化量について予測した。(p. 101、102、資料編 p. 3 参照)
		環境局長の審査意見書を踏まえ、選手村として利用する施設を対象とした廃棄物等の発生量を予測した。(p. 101、102 参照)
9.5 エコマテリアル	ミティゲーション	環境局長の審査意見書を踏まえ、エコマテリアルに関するミティゲーションを追記した。(p. 117 参照)
9.6 温室効果ガス 9.7 エネルギー	予測	環境局長の審査意見書を踏まえ、資料編として建設機械の稼働に伴う温室効果ガス排出量及びエネルギー使用量の算定過程を記載した。(p. 128、129、136、137、資料編 p. 6 参照)
	ミティゲーション	環境局長の審査意見書を踏まえ、工事中の温室効果ガス排出抑制及びエネルギー使用量削減に関するミティゲーションを追記した。(p. 130、138 参照)

10. 評価書対象事項に係る評価書案の修正の経過及びその内容

表 10.1-1(2) 評価書案の修正の経過及びその内容

評価書案の修正箇所		修正事項	評価書における修正内容及び修正理由
9.8 交通渋滞 9.9 公共交通へのアクセシビリティ 9.10 交通安全	9.8 交通渋滞	ミティゲーション	環境局長の審査意見書等を踏まえ、工事用車両の安全走行、市街地での待機や違法駐車に関するミティゲーションを追記した。(p.155、165、173 参照)
		予測	環境局長の審査意見書を踏まえ、資料編として将来基礎交通量及び工事用車両交通量の詳細を記載した。(資料編 p.7～9 参照)
	9.10 交通安全	ミティゲーション	環境局長の審査意見書等を踏まえ、工事用車両台数の低減に関するミティゲーションを追記した。(p.155 参照)
		現況調査	計画地周辺の道路、住宅、保育園、幼稚園等の最新の情報を収集するとともに、環境局長の審査意見書を踏まえ、工事用車両の走行ルートと教育施設や福祉施設等や通学路との位置関係を調査した。(p.169、170 参照)
11. 評価書対象事項に係る調査計画書の修正の経過及びその内容		修正の経過	調査計画書から見直しを行った予測事項について記載した。(p.183 参照)

10.2 評価書案審査意見書に記載された環境局長の意見

「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会実施段階環境影響評価評価書案審査意見書について」(平成27年10月13日 27環総政第624号)に記載された環境局長の意見は、表10.2-1(1)～(6)に示すとおりである。

表 10.2-1(1) 評価書案に対する環境局長の意見の内容

項目	1. 総括的事項
	<p>選手村は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会において選手の宿泊施設として一時使用された後に住居等として生まれ変わる計画となっている。</p> <p>本事業は、大規模な事業として条例アセスメントの対象でもあることから、より一層の環境配慮に努めるべきである。</p> <p>また、調査計画書で選定した項目のうち、評価書案においては選定しなかった項目の一部について選定しない理由の説明が不十分であることから、これを明らかにするとともに必要に応じて項目として選定し、評価書に記載されたい。</p> <p>さらに、評価書案がより一層分かりやすいものとなるよう、現地調査結果の詳細、予測の基礎となる条件、算出過程等、基礎情報について整理されたい。</p>

表 10.2-1(2) 評価書案に対する環境局長の意見の内容

項目	2. 項目別事項
	(1) 【主要環境（土壌）】
	<p>(土壌) 工事中において土壌汚染が新たに確認された場合、速やかに土壌汚染対策を講じるとともに、今後のフォローアップ報告書において報告すること。</p>
	(2) 【生態系（生物の生育・生息基盤、生物・生態系）】
	<p>(生物の生育・生息基盤、生物・生態系共通) 選手村の緑化計画は今後検討を行うとしていることから、検討に当たっては、生物の生育・生息基盤や生物・生態系に配慮するとともに、アスリートにとっても快適な空間となるよう努めること。 また、計画の熟度が高まった段階で改めて予測・評価を行うこと。</p> <p>(生物・生態系) 会場エリア内において注目される種が確認されていることから、臨海部という特性を考慮した適切な環境保全措置を講じ、工事による影響をできる限り低減するよう努めること。</p>
	(3) 【資源・廃棄物（廃棄物、エコマテリアル）】
	<p>(廃棄物)</p> <p>① 施設の建設に伴う建設発生土、建設汚泥及び建設廃棄物の排出量の予測において、これらの算出過程を明らかにすること。 また、廃棄物等の種類ごとに再資源化率を設定し、排出量とともに再資源化量についても記述すること。</p> <p>② 予測結果には選手村として利用する施設以外の住宅棟（超高層タワー）及び商業棟の建設に係る廃棄物等の量も含まれていることから、選手村として利用する施設の廃棄物等の量をできる限り明らかにすること。</p> <p>(エコマテリアル) 建設工事に関するエコマテリアルの積極的な利用に努めるとともに、使用状況について確認すること。</p>
	(4) 【温室効果ガス（温室効果ガス、エネルギー）】
	<p>(温室効果ガス、エネルギー 共通)</p> <p>① 建設機械の稼働に伴う温室効果ガス排出量及びエネルギー使用量の予測において、これらの算出過程を明らかにすること。</p> <p>② 工事の実施に当たっては、温室効果ガス排出量が少ない建設機械や燃費性能の高い建設機械の導入を検討するなど、より一層の温室効果ガスの排出抑制及びエネルギー使用量の削減に努めること。</p>

表 10.2-1(3) 評価書案に対する環境局長の意見の内容

項目	2. 項目別事項
(5) 【交通（交通渋滞、公共交通へのアクセシビリティ、交通安全）】	
(交通渋滞、公共交通へのアクセシビリティ、交通安全 共通)	
<p>計画地の周辺には多くの工事用車両の走行が考えられることから、安全走行の徹底を図ることはもとより、これらの車両が市街地で待機や違法駐車等をすることがないように、運転者への指導を徹底するなど、必要な環境保全措置を講じ、周辺地域におけるより一層の交通の円滑化及び交通安全の確保に努めること。</p>	
(交通渋滞)	
<p>① 予測の基礎となる将来基礎交通量及び工事用車両交通量の詳細を明らかにすること。</p>	
<p>② 事業の実施に伴い計画地周辺に工事用車両が集中すると予想されることから、船舶輸送の利用を検討するなど、より一層の車両台数の低減に努めること。</p>	
(交通安全)	
<p>① 周辺には教育施設、福祉施設等が存在することから、工事用車両の走行ルートと各施設、通学路等との位置関係を明らかにし、児童・生徒や施設利用者の通行に対する交通安全の影響が懸念される場合には、より一層の交通安全の確保に努めること。</p>	
<p>② 計画地周辺には住宅や事業所が多数存在することから、歩行者の混雑が特に予想される通勤・通学時間帯においては、工事用車両の影響をできる限り低減するよう適切な環境保全措置を講じること。</p>	

10.3 意見見解書に記載された意見及び見解

「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会実施段階環境影響評価評価書案(選手村)」は、平成27年3月26日に公表し、同年3月26日から5月9日までの45日間にわたり意見募集を行った。都民等から提出された意見書の件数は1件であった。

提出された意見の全文を掲載し、これとともに、意見に対する実施者の見解を以下に示す。

10.3.1 都民等の意見の見解

項目	1. 環境影響評価全般	
	意見の内容	実施者の見解
(1)	選手村では、オリンピックビレッジプラザや輸送モール、メインダイニングホール等数多くの仮設工作物が計画され、これらの建設・解体に伴う影響が予想されることから、今後、仮設工作物の計画が具体化した時点で、環境影響評価を実施すること。	(1) 評価書案では、「(仮称)晴海五丁目西地区開発計画」のうち、大会期間中に宿泊施設として一時使用する施設を対象に環境影響評価を実施しました。 仮設工作物や大会の開催中に係る環境影響評価は、今後の計画の熟度に応じて、改めて環境影響要因の抽出及び環境影響評価の項目を検討し、別途実施する予定です。
(2)	本事業の実施により設置される住宅棟や道路、公園等を適切に配置し、計画地近傍に整備される学校の教育環境が良好なものとなるよう配慮すること。 また、事業計画地周辺は、道路、住宅、保育園、幼稚園等が新設されることがあるため、環境影響評価に当たっては常に最新の情報を基に行うこと。	(2) 「(仮称)晴海五丁目西地区開発計画」においては、住宅棟、道路や公園等を適切に配置し、周辺の学校環境が良好なものとなるよう配慮していきます。 また、仮設施設については、大会後に撤去する予定であり、学校の教育環境には影響を及ぼさないと考えております。評価書の作成に当たっては、計画地周辺の道路、住宅、保育園、幼稚園等についてできる限り最新の情報を収集し、予測・評価に反映していきます。
(3)	「中央区中高層建築物の建築計画の事前公開等に関する指導要綱」の規定に準じ、本事業の進捗状況にあわせて関係者に対する事前説明を行うとともに、地域住民に対しても丁寧な説明を行うこと。	(3) 「中央区中高層建築物の建築計画の事前公開等に関する指導要綱」の規定に基づき、地域住民の方に対して説明を行いながら進めます。また、事業の実施に当たっては、工事説明会等を開催し、工事の内容等について説明するなど情報提供に努め、地元の皆様の御協力を頂きながら、事業を進めていきます。
(4)	工事車両、風環境、景観その他環境影響についての苦情、問合せや相談に対して受付窓口を一本化し、苦情等に対して速やかに対応すること。	(4) 問合せや相談等に対する受付窓口などを設けることにより、工事関係者が連携してできる限り速やかに対応していきます。
(5)	仮設工作物の建設・解体工事や大会運営計画が具体化してから環境影響評価を行うものとしている項目については、(仮称)晴海五丁目西地区開発計画として実施される工事の影響も加味した環境影響評価を行うこと。	(5) 仮設工作物や大会の開催中に係る環境影響評価は、「(仮称)晴海五丁目西地区開発計画」の施工計画も踏まえ、今後の計画の熟度に応じて、改めて環境影響要因の抽出及び環境影響評価の項目を検討し、別途実施する予定です。

10. 評価書対象事項に係る評価書案の修正の経過及びその内容

項目	2. 施工計画	
	意見の内容	実施者の見解
(1) 工事用車両による晴海地区、月島地区などの道路上における待機駐車がないように努めること。		(1) 工事の実施に当たっては、関係機関と協議するほか、施工業者に対する指導を徹底し、道路上における待機駐車防止に努めていきます。
(2) 本事業で多くの棟が同時並行で建設されるだけでなく、周辺地域においても同時期に多くの工事が実施されることから、工事用車両の集中を防いで平準化するなど地域住民等への交通利便に係る影響が極力小さくなるように調整を図ること。		(2) 工事の実施に当たっては、工事の平準化や、周辺の大規模開発事業者との調整等により、工事用車両の集中を防いで地域住民等への交通利便に係る影響ができる限り小さくなるように努めていきます。
(3) 工事用車両の走行ルートについては、関係機関と十分に協議し、周辺の交通渋滞の防止や交通安全を確保すること。		(3) 工事用車両の走行ルートについては、施工業者が決定し、詳細な施工計画を作成する中で、関係機関と調整の上、周辺の交通渋滞の防止や交通安全の確保に努めていきます。
(4) 晴海地区や幹線道路沿道には教育施設等が多いので、工事用車両は法定速度及び規制速度を遵守し、車両走行に係る環境及び安全の確保に努めること。		(4) 工事の実施に当たっては、施工業者に対する指導を徹底し、工事用車両の法定速度及び規制速度を遵守させるとともに、工事車両の出入り等については交通整理員の配置を行い車両走行に係る環境及び安全の確保に努めていきます。
(5) 工事施工中、船舶輸送の積極的な拡大利用を図るように努めること。		(5) 工事の実施に当たっては、関係機関と調整の上、輸送に利用できる空間の検討や周辺工事との整合、工事の経済性や合理性等について精査し、海上輸送の可能性を含め総合的に検討していきます。

項目	3. 温室効果ガス・エネルギー	
	意見の内容	実施者の見解
(1) 「中央区エコタウン構想―晴海地区―（平成24年8月）」において、先進的エネルギー地区の形成を図るため、中央清掃工場の排熱利用や再生可能エネルギー等を活用するとしていることから、未利用エネルギー等の積極的な活用を努めること。		(1) 再生可能エネルギーや中央清掃工場の排熱等の未利用エネルギーの活用に向けて、今後、地元区等と協議しながら計画策定段階から検討を進めていきます。 なお、2020年東京大会開催中における再生可能エネルギー等の活用については、今後検討してまいります。

項目	4. 交通渋滞	
	意見の内容	実施者の見解
(1) 開発交通量の増加に伴い、周辺の交通渋滞が懸念されるので、関係機関と十分協議し、交通渋滞の防止に努めるとともに、晴海地区及びその周辺の交通環境の改善を図るため、BRT（バス高速輸送システム）の早期運行開始に向けた積極的な取り組みや地域内交通の充実を図ること。		(1) 交通については、都は、都心から勝どきを経由して臨海副都心に至る地域において、選手村の後利用をはじめとした開発需要等の一定の交通需要に柔軟に対応するため、BRTの導入を計画しております。

項目	5. 交通渋滞、公共交通へのアクセシビリティ、交通安全	
	意見の内容	実施者の見解
(1) 大会開催中を中心として、セキュリティエリアの設置やオリンピック・レーン及びオリンピック・プライオリティルートの設定等大規模な交通規制の実施による交通流の大幅な変化が予想されることから、今後、大会運営計画が具体化した時点で、開催中の大会の運営における交通渋滞、公共交通へのアクセシビリティ及び交通安全についても環境影響評価を実施すること。		(1) 仮設工作物や大会の開催中に係る環境影響評価は、今後の計画の熟度に応じて、改めて環境影響要因の抽出及び環境影響評価の項目を検討し、別途実施する予定です。 大会開催中の交通渋滞、公共交通へのアクセシビリティ及び交通安全についても、交通規制の実施による交通流の変化の程度を勘案し検討する予定です。

10. 評価書対象事項に係る評価書案の修正の経過及びその内容

項目	6. その他	
	意見の内容	実施者の見解
<p>(1) 晴海地区においては、今後、大規模な再開発事業等が計画されていることから、人口増加に伴う自転車利用者の増加が見込まれる。そのため、最寄り駅である勝どき駅へのアクセス経路である晴海通りにおいて歩行者・自転車の錯綜が予想されるので、自転車道の整備を含めた対応を実施すること。</p>		<p>(1) 評価書案では「(仮称)晴海五丁目西地区開発計画」のうち、大会期間中に宿泊施設として一時使用する施設を対象に環境影響評価を実施しました。仮設工作物や大会の開催中に係る環境影響評価は、今後の計画の熟度に応じて、改めて環境影響要因の抽出及び環境影響評価の項目を検討し、別途実施する予定です。</p> <p>なお、「(仮称)晴海五丁目西地区開発計画」においては、自転車の安全で快適な走行空間を確保するため、広幅員道路に自転車走行空間を設けることを計画しています。その他の道路については、今後、関係機関との協議・調整の上、必要に応じて自転車走行空間を設けることを検討します。</p>

10. 評価書対象事項に係る評価書案の修正の経過及びその内容